

ARTLET

60
開設30年

慶應義塾大学アート・センター ARTLET 第60号

アート・センター 2013-2023



上：海外からのアーカイヴ来訪者(2023年3月10日)
中：触覚鑑賞ワークショップ——彫刻を洗う、楽しむ(2023年11月9日)
下：「SHOW-CASE project No.4 河口龍夫 鯉呼吸する視線」展
(2020年8月17日-10月30日)

アート・センター 2013-2023

慶應義塾大学に「アート・センター」という新たな組織が誕生して、30周年を迎えました。アート・センターとは名乗るものの、当初その守備領域はいわゆる戦後芸術で、具体的には20世紀の美術、音楽、映画、演劇、舞踏、写真などの研究・普及をその主たる目的として、産声を上げています。創立後数年を経たころからは、新たに各種芸術関連の資料体を整理・保存し公開するアーカイヴの活動が始まり、現在複数が継続運用中となっています。

隣接する文学・社会学などの諸学問との深い関わりから、関連の活動も増加し、次第に戦後芸術という枠組みを越境する機会も多くなりましたが、とくに社会教育の場であるミュージアムの機能も兼ね備えた2011年以降は、博物館業界や地域との連携がますます増加する勢いとなっています。

創立20周年の折に、それまでのアート・センターの活動を振り返る号をつくりましたので、今回はその後10年に、飛躍的に活動規模を増大させたアート・センターの歩みを、ご報告することといたします。今後のアート・センターの諸活動に、引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。 (所長 内藤正人)

*アート・センターが主催、共催、協力等で関わった主な催事・展覧会を記した。

*主催・共催・協力先については省略(詳細は年報参照)。

*肩書や組織名称は当時のままを記した。

*1993～2013年の歩みについては「ARTLET第40号別冊」(2013年9月30日発行)を参照。

2013

■アート・センター創立20年 ■文化庁平成25年度メディア芸術デジタルアーカイブ事業 ■文化庁アーツ・マネジメント教育の総合的・体系的確立とその方法論による人材養成事業 ■平成25年度(以降平成29年度まで)私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 文化財コンテンツのデジタル表象環境に関する統合的研究拠点の形成(プロジェクト参画、研究代表:慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター) ■Booklet22『コスモス——いま、芸術と環境の明日に向けて』



9.24-10.11 展覧会 文学部古文書室展 I 野村兼太郎収集資料の世界
9.25, 10.2, 9 関連企画 「近世古文書を見る会」:文学部古文書室閲覧室(研究室棟地下一階)

10.26 公演|シンポジウム 慶應義塾大学アート・センター開設20周年記念行事 芸術の未来にむけて
講演:湯浅譲二(作曲家)、合唱:「カヒガラ」(作詞:瀧口修造/作曲:湯浅譲二)
演奏:合唱団「暁」、指揮:西川竜太

10.29-11.28 展覧会 センチュリー文化財団寄託品展覧会 和歌のキャンパス——懐紙にしたためられた歌
第一会場:慶應義塾図書館 展示室(11.6-28)
第二会場:慶應義塾大学アート・スペース(10.29-11.19)

11.25-12.26 展覧会 慶應義塾と戦争 I 慶應義塾の昭和十八年
第一会場:慶應義塾図書館展示室(12.2-12.26)
第二会場:慶應義塾大学アート・スペース(11.25-12.18)

1.18 講演 西協順三郎 生誕120年記念 アムバルワリア祭
登壇者:安藤礼二(多摩美術大学准教授・文芸評論家)、コメンテーター:野村喜和夫(詩人)
司会:新倉俊一(訪問所員・明治学院大学名誉教授)

1.21 ディスカッション 没後28年 土方巽を語ること IV
ゲスト講話:萩原朔美(多摩美術大学教授)

1.26 講演 Alan Yaffe氏 講演会
“Changing Challenges to Managing the Arts in the United States: Origins and History”
登壇者:アラン・ヤッフェ

3.3-3.28 展覧会 アート・アーカイヴ資料展 XI タケミヤからの招待状——TAKEMIYA INVITATIONS
3.7 関連企画 トーク・イベント「タケミヤ画廊、瀧口修造と1950年代」
登壇者:池田龍雄(美術家)、聞き手:渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)

3.3-5.9 展覧会 SHOW-CASE project No.0 富井大裕 ブラインド コンポジション
3.14 関連企画 トーク・イベント「SHOW-CASE project について」:富井大裕(出品作家)、川村格夫(デザイン担当)、有元利彦(設営担当)、渡部葉子(企画者・専任所員・教授/キュレーター)





4.16 公演	2014年度新入生歓迎行事 中嶋夏 舞踏公演「煙のように 灰のように」 出演者：中嶋夏、(霧笛舎)、音響・照明：曾我傑、舞台監督：十亀脩之介、振付・演出：中嶋夏
5.19-7.11 展覧会 7.11 関連企画	同時代の眼 IV 光の在処 — イミ・クネーベル ゲスト・ギャラリー・トーク「イミ・クネーベルの世界」：大谷芳久(かんらん舎)
6.21 公演	レクチャー・コンサート 19世紀の音楽受容2 シューベルトの歌曲と室内楽 講師：平野昭(文学部教授)、演奏：桐朋学園大学学生
9.17-10.3 展覧会	文学部古文書室展 II 「武」を記録する
9.17-11.28 展覧会 11.4 関連企画	SHOW-CASE project No.1 富井大裕 3個の消しゴム トーク・イベント「作品体験について」：富井大裕(出品作家)、川村格夫(デザイン担当)、 鎮西芳美(東京都現代美術館)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
10.7-10.31 展覧会	慶應義塾と戦争 II 残されたモノ、ことば、人々 第一会場：慶應義塾図書館展示室、第二会場：慶應義塾大学アート・スペース
10.23-10.28 展覧会	舞踊フェスティバル in AKITA 企画展示 土方巽・舞踏の世界 場所：秋田市文化会館 地下展示ホール
10.31 コンサート	大野雄二&ルパンティックファイブ in KEIO 出演者：大野雄二(pf, key)、井上陽介(b)、江藤良人(ds)、松島啓之(tp)、鈴木央紹(sax)、 和泉聡志(g)
9.30 関連企画	拡張するジャズ：講義編 Autumn 2014「なぜ、再びジャズ・ピアノを弾いているのか」 講師：大野雄二、聞き手：中川ヨウ
11.5-11.28 展覧会	センチュリー文化財団寄託品展覧会 書と生きる — 江戸人の文雅愛好
11.8 公演	土方巽『病める舞姫』を秋田弁で朗読する [秋田版] 『病める舞姫』をテキストに、2つのソロダンス『病める舞姫』を踊る [秋田版] 作・構成・演出・出演：田辺知美、川口隆夫、場所：秋田魁新報社1F さきかけホール
11.15 シンポジウム	第16回見世物学会総会記念シンポジウム 見世物と土方巽 特別展示併設：内藤正敏「見世物看板大写真展再現」 第1部 パネラー：大野裕子(太夫元)、安田春子(太夫元)、西村太吉(分方)、司会：門伝仁志(見世物学会) 第2部 パネラー：磨赤兒(舞踏家・大駱駝艦主宰)、梅山いつき(演劇研究)、司会：森下隆(所員)
12.8-2015.1.30 展覧会	古代への憧憬
1.19-6.26 展覧会 3.3 関連企画	SHOW-CASE project No.2 志村信裕 透明なケース ギャラリー・トーク「つくりかたを考える」：志村信裕(出品作家)、川村格夫(デザイナー)、尾中俊介(デザイナー)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
1.21 ディスカッション	没後29年 土方巽を語ることV ゲスト講話：大野慶人(舞踏家)
1.24 講演	アムバルワリア祭 IV 「西脇順三郎と萩原朔太郎 — 二人の詩法をめぐって」 登壇者：野村喜和夫(詩人)、杉本徹(詩人)、八木幹夫(詩人)、司会：新倉俊一(訪問所員・明治学院大学名誉教授)
2.4, 27, 3.7 ディスカッション	アート・アーカイヴ・マネジメントWG シーズン1 Relationship トークセッション1：「アートと社会のつながりかた：動き出す日本の文化資源」 熊倉純子(東京芸術大学教授)、太下義之(三菱UFJリサーチ&コンサルティング) トークセッション2：「パフォーマンス・アーカイヴの現在：国際連携をもとめて」 副島博彦(立教大学教授)、溝端俊夫(大野一雄舞踏研究所)、森下隆(所員) トークセッション3：「アーティストとアーカイヴ：《陸と海》(1970)を巡って」 河口龍夫(現代美術作家)、横田茂(横田茂ギャラリー)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
3.9-3.20 関連イベント	展示：河口龍夫《陸と海》(1970) 場所：横田茂ギャラリー
3.2-4.17 展覧会 3.2-4.17 関連企画 3.14	アート・アーカイヴ資料展 XII ノグチ・ルーム再び 旧ノグチ・ルーム(新萬來舎) 特別公開 建築見学ツアー

4.24 公演	2015年度新入生歓迎行事 大野慶人舞踏公演「花と鳥 内部と外部」 出演者：大野慶人、照明・音響：曾我傑
5.11-6.26 展覧会	同時代の眼 V プリンキー・パレルモ



5.19 上映	2015年度新入生歓迎行事 ゲキ×シネの世界「髑髏城の七人」 ゲスト：細川展裕(株式会社ヴェレッチ代表取締役会長)、コーディネーター：小菅隼人(所員・理工学部教授)
6.1-8.6 展覧会	慶應義塾と戦争III 慶應義塾の昭和二十年 第一会場：「空襲、戦死、終戦」慶應義塾図書館展示室 第二会場：「疎開、動員、占領」慶應義塾大学アート・スペース
8.28-9.1 シンポジウム 公演	PSi TOHOKU けかれを超えて(身体・霊性・巡礼) 場所：青森県立美術館
6.6-9.13 展覧会	「土方巽・舞踏の世界」土方巽の芸術 — DANCE EXPERIENCE から DANCE METHOD へ
8.29-9.1 関連企画	モバイル・アーカイヴ：土方巽の舞台映像、慶應義塾での舞踏公演の記録(室伏鴻、大野慶人)など、「動きのアーカイヴ」映像の一部上映
8.28-9.1 公演	AOMORI FRINGE 「善知鳥」：玉野黄市、玉野弘子、福土正一、大川原脩平、「病める舞姫 — プロローグ：カタジナ・パストウシャック(ポーランド)」、「mulher da montanha ~ 山の女 ~」：ナジャ・モレット、「オドラデク道路劇場」：福土正一、玉野黄市、玉野弘子、オドラデクダンスーズほか
8.29-31 シンポジウム ディスカッション	パネルセッション：「Ecology of Butoh(舞踏の生態学)」「Performance Archives(パフォーマンス・アーカイヴ)」 基調講演：森下隆(所員)、登壇者：Karen SHIMAKAWA (NYU Tisch School of the Arts)、Joshua CHAMBERS-LESTON (Northwestern University)、Jow-Jiun GONG (Tainan University of the Arts)、Meng-Hsun LU (National Cheng Kung University)、Debra LEVINE (NYU Abu Dhabi)ほか
8.29, 30 公演	青森の民俗/芸能 出演者：百万遍/数珠回し：青森市大矢沢町会婦人部の皆さん、津軽三味線：高橋竹春、舞踏：福土正一、能舞(権現舞)：東通村蒲野沢青年会 舞踏公演 Three Dancers ~ 次の時代へ：出演者：工藤文輝、点滅、雪雄子
8.28-9.1 公演 上映 ワークショップ	PSi 2015 TOHOKU+AOMORI FRINGE 場所：青森県立美術館、Black Box、青森市街
8.30 上映	特別上映：寺山修司の実験映画 上映作品：「トマトケチャップ皇帝」「一寸法師を記述する試み」「二頭女」「ローラ」「審判」 場所：青森県立美術館シアター
10.5-10.23 展覧会	文学部古文書室展 III 幕末を記録する — 二条家文書の世界
10.7 講座 ワークショップ	アーツ・マネジメント実習講座① 企業内アート・リソースを活かす実践講座 レクチャー：梅津光弘(商学部准教授)、小林弘長(富士ゼロックス株式会社 総務部 文書統括グループ)、吉井有紀(公益財団法人損保ジャパン日本興亜美術財団 教育普及担当)、中村聡(なかむらそうクリニック 院長・東京都済生会中央病院顧問)、有元利彦(HIGURE17-15cas contemporary art studio)
10.15 講座 ディスカッション	地方・地域における文化芸術活動と大学「文化による地域創生：北東北からの報告」 登壇者：三浦賢翁(秋田・大龍寺住職)、福土正一(青森・舞踏家)
10.26 講演	油井正一アーカイヴ研究会「拡張するジャズ」 常盤武彦×井上智 フォト&ミュージック・セッション 「ジム・ホールと、その影響下にあるコンテンポラリー・ジャズ・ギタリストの肖像」 対談：常盤武彦(写真家・音楽ジャーナリスト)、井上智(ギタリスト・作曲家) 演奏：井上智、金子健(ベーシスト)
10.29, 11.5, 12 講座	アーツ・マネジメント基礎講座 講師：中尾知彦(第1~3回・文学部准教授)、朝倉由希(第3回・静岡文化芸術大学非常勤講師・静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター共同研究員)
11.4-11.27 展覧会	センチュリー文化財団寄託品展覧会 元和偃武400年 太平の美 — 書物に見る江戸前期の文化 第一会場：慶應義塾図書館展示室、第二会場：慶應義塾大学アート・スペース
11.27, 28 見学会	慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード — 建築特別公開日 対象建築物：演説館、旧ノグチ・ルーム(設計 谷口吉郎、移築設計 隈研吾、庭園デザイン Michel Desvigne)、塾監局(設計 曾瀬中條建築事務所)、旧図書館(設計 曾瀬中條建築事務所)、第一校舎(設計 曾瀬中條建築事務所) 図書館(設計 榎文彦)、大学院校舎(設計 榎文彦)
11.28 シンポジウム	慶應義塾の建築プロジェクトシンポジウム 慶應義塾三田キャンパス 1951：ノグチ・ルームの誕生をめぐって 登壇者：越前俊也(同志社大学)、富田英夫(九州産業大学)、石川尋代(慶應義塾大学DMC研究センター)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)、本間友(所員)
11.27-2016.1.29 展覧会 12.4 関連企画	SHOW-CASE project No.3 大竹伸朗 時憶/フィードバック Time Memory/Feedback トーク・イベント「最近の活動について」：大竹伸朗(美術家)、矢野優(『新潮』編集長)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
11.28, 12.18, 1.28 講座	アーツ・マネジメント実習講座② 文化装置としてのアーカイヴ構築 ゲスト：久山雄甫(神戸大学文学部講師)、講師：糸川麻里生(副所長・文学部教授)、上崎千(所員)
12.2-12.18 展覧会	慶應義塾大学文学部創設125年記念展示 モノがたる文学部 資料にみる人文学研究/師弟のこぼれ 西脇順三郎と井筒俊彦 第一会場：「モノがたる文学部 資料にみる人文学研究」慶應義塾図書館展示室 第二会場：「師弟の言葉 西脇順三郎と井筒俊彦」慶應義塾大学アート・スペース

1.20, 21 ディスカッション 公演 講座	没後30年 土方巽を語ること VI 20世紀舞踊研究会 第1回「1950年代舞踊／批評とメディア」登壇者：うらわまこと(舞踊評論家)、山野博大(舞踊評論家) 「土方巽を語ること VI」ゲスト講話：谷川俊太郎(詩人) 土方巽命日・護摩焚き(声明・読経)+舞踏 出演者：点滅、場所：三田高野山弘法寺 龍生院 本堂
1.23 講演	アムバルワリア祭 V 「西脇順三郎と井筒俊彦 — ことばの世界」 登壇者：若松英輔(批評家)、坂上弘(作家・慶應義塾大学出版会会長)、野村喜和夫(詩人)、高橋勇(所員・文学部教授)、司会：新倉俊一(訪問所員・明治学院大学名誉教授)
2.22-3.25 展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XIII 東京ビエンナーレ '70再び
2016	■文化庁平成28年度メディア芸術アーカイブ推進支援事業 「インターメディア」性を有する戦後芸術のレコード化 ■文化庁平成28年度我が国の現代美術の海外発信事業 VIC (Video Information Center) 資料を基軸とする1970年代日本美術関連資料の整備と国際発信 ■Booklet25『シェイクスピア — 拡張する世界』
4.22 公演	2016年度新入生歓迎行事 大野慶人レクチャー&パフォーマンス「舞踏という生き方」 出演者：大野慶人、照明・音響：曾我傑
6.1-7.15 展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XIV 鎌鼬美術館設立記念 KAMAITACHIとTASHIRO
6.1 関連企画	シンポジウム&トーク「稲架のある里」：桜庭文男(写真)、藤原峰(映像)、本間恵介(茅葺き職人)
7.15	シンポジウム&トーク「『鎌鼬』の50年」：細江英公(写真)、チョイ・カファイ(映像・ダンス)
6.20 ワークショップ シンポジウム	Connecting through Art Archives: Archives for the Preservation and Creation of Culture 国際研究会・ワークショップ「アート・アーカイヴの諸相」 講師：Dr Liza Kirwin (Deputy Director at Archives of American Art)、Dr Karen B. Weiss (Head of Digital Operations at Archives of American Art)、登壇者：住友文彦(アーツ前橋館長)、松山ひとみ(東京国立近代美術館フィルムセンター デジタル映画保存・活用調査研究事業班)、糸川麻里生(副所長・文学部教授)、渡部葉子(専任所員・教授・キュレーター)、本間友(所員)
6.18 関連企画	公開研究会「アーカイブズ・オブ・アメリカンアート(AAA)のすべて」 講演：Dr Liza Kirwin、Dr Karen B. Weiss
7.9 コンサート 講演	レクチャー・コンサート 19世紀の音楽受容 ヴィルトウオーソのためのピアノ協奏曲 出演者：仲道郁代(ピアノ)、島田真千子(ヴァイオリン)、水谷晃(ヴァイオリン)、篠崎友美(ヴィオラ)、植木昭雄(チェロ)、レクチャー：福田弥(所員・文学部准教授)
8.1-8.31 見学会	三田山上で出会う近代建築と彫刻
8.26, 27 関連企画	ガイドツアー：「近現代建築と彫刻が奏でる『交響詩』」 親子向けワークショップ：「慶應三田キャンパス 夏休み教室 ～ 建築&彫刻鑑賞編～」
10.3-10.28 展覧会	文学部 古文書室展 IV 書き留められた移動
10.7-8 見学会	慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード — 建築特別公開日
11.4, 5, 12 展覧会	フォルディング・コスモス×慶應義塾の建築プロジェクト「転位する部屋 — 一畳敷と新萬來舎」
11.4 関連企画	対話の夜会 ゲスト：ヘンリー・スミス、河口龍夫、藤枝守、渡部葉子、モデレーター：倉島美和子(フォルディング・コスモス)
11.5	講演：ヘンリー・スミス
11.4, 5	一般公開：旧ノグチ・ルーム
11.12	特別見学会：国際基督教大学 泰山荘内「一畳敷」
11.14-12.16 展覧会	センチュリー文化財団寄託品展覧会 描かれた古 — 近世日本の好古と書物出版 — 第一会場：慶應義塾大学図書館展示室、第二会場：慶應義塾大学アート・スペース
11.25, 12.13 関連企画	ギャラリー・トーク
12.3 シンポジウム	公開研究会「現代美術のアーカイヴの展開」 (科学研究費基盤研究(A)「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」) 登壇者：ナタリー・ブルージュ(レンヌ第二大学教授)、谷口英理(国立新美術館)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)、司会：五十殿利治(筑波大学教授・研究代表者)
12.12 ディスカッション	報告会/フォーラム「コンタクト・ポイント：東京ビエンナーレ1970」 ゲスト・スピーカー：峯村敏明(美術評論家・多摩美術大学名誉教授)、小清水漸(彫刻家) 司会：渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
12.17 シンポジウム	研究フォーラム「建築のマーヅナリア」 (科学研究費基盤研究(A)「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」) 登壇者：新良太(写真家)、徳永雄太(建築倉庫ミュージアム館長)、後藤文子(副所長・文学部准教授)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)、森山緑(所員)、松谷美美(所員)
1.11-3.17 展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XV なだれうつ! アヴァランチ
3.10 関連企画	トーク・イベント「誌面に包囲されること」：森大志郎(デザイナー)、土屋誠一(美術批評家)、久保仁志(所員)



1.14 シンポジウム	文化庁国際シンポジウム「現代芸術アーカイブの構築に向けて——保存・発信・活性化」 (新進芸術家海外研修制度発足50周年記念 国際シンポジウム「日本の現代美術を支える——未来へ、そしてレガシーへ」第2日目) 登壇者：ファラ・ワルダニ(シンガポール・ナショナル・ギャラリー、リソース・センター副所長)、ジョー・メルヴィン(バリー・フラナガン・エステート、ディレクター/ロンドン芸術大学チェルシー・カレッジ・オブ・アート、アーカイブ・特別文庫担当講師)、高柳有紀子(大阪新美術館建設準備室)、建昌哲(多摩美術大学)、梅津元(埼玉県立近代美術館)、上崎千(横浜国立大学非常勤講師)、小池一子(クリエイティブ・ディレクター)、並木誠士(京都工芸繊維大学)、米田竜介(一般財団法人草月会)、藤本貴子(文化庁国立近現代建築資料館)、本間友(所員)、久保仁志(所員)、コーディネーター：渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
1.16 ディスカッション	現代美術をめぐるトーク：アーティストとの創造的な仕事について 登壇者：Jonathan Watkins (Director, Ikon Gallery, Birmingham, UK)、Dr Jo Melvin (Director, Estate of Barry Flanagan, Reader in Archives and Special Collections at Chelsea Collage of Arts, University of the Arts London)
1.21 ディスカッション	没後31年 土方巽を語ること VII ゲスト講話：永松左知(茨城県近代美術館学芸員)、佐藤正和(俳優)
1.29 講演	アムバルワリア祭 VI「西脇順三郎と芭蕉」 登壇者：吉増剛造(詩人)、高柳克弘(俳人)、杉本徹(詩人) 司会：新倉俊一(訪問所員・明治学院大学名誉教授)

2017

■文化庁平成29年度我が国の現代美術の海外発信事業 我が国の現代美術の戦略的海外発信に向けた関連資料の整理 VIC (Video Information Center)資料を基軸とする1970年代の日本美術関連資料の整備と国際発信 ■平成29年度港区文化プログラム連携事業 都市のカルチュラル・ナラティブ：文化資源の過去と現在に出会う講座 ■公益財団法人花王芸術・科学財団 2017年度美術館等の美術展覧会への助成 ■Booklet26『mandala musica』



5.15-6.30 展覧会	スタンディング・ポイントI 寺内曜子
5.26 関連企画	アーティストトーク：寺内曜子(アーティスト)、司会：渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
6.2 公演	2017年度新入生歓迎行事 小林嵯峨 舞踏公演「孵化する」 出演：小林嵯峨、榎木ふく、小松亨、谷川俊之、構成・振付：小林嵯峨、照明・音響：曾我傑、コーディネーター：小菅隼人(所員・理工学部教授)
6.22 ワークショップ	ロックアンサンブル・ワークショップ 講師：ichiro(ギタリスト)、ゲスト：藤川清(ジャンプ奏者)
7.10-7.28 展覧会	KUAC Cinematheque I：ビデオはおもちゃだ！ VIC #1
7.14 関連企画	トーク・イベント：手塚一郎(Video Information Centerリーダー)、聞き手：久保仁志(所員)、長谷川紫穂(学芸員補)
7.13 研究会	Seiko presents “油井正一アーカイブ” 研究会 “拡張するジャズ” 講師：菊地成孔(訪問所員・音楽家)、聞き手：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
7.27 ワークショップ	弦楽アンサンブル・ワークショップ 講師：渡辺玲子(ヴァイオリニスト)
10.10-11.2 展覧会	文学部古文書室展 V 国のうち・そと
11.13-12.8 展覧会	平成29年度センチュリー文化財団寄託品展覧会 空海と密教の典籍 第一会場：慶應義塾大学図書館展示室、第二会場：慶應義塾大学アート・スペース
11.16, 12.1 関連企画	ギャラリー・トーク
11.13 講演 コンサート	Seiko presents レクチャー・コンサート「伊藤志宏の世界」 講義・演奏：伊藤志宏(ピアノ、鍵盤楽器)、共演者：北田学(クラリネット)、maiko(ヴァイオリン) 司会：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
11.15, 18 見学会	慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード——建築特別公開日
11.18 講座	都市のカルチュラル・ナラティブ 都市文化の物語：港区文化資源の近世と現代 登壇者：伊坂道子(建築家・伊坂デザイン工房共同代表)、内藤正人(所長・文学部教授)
12.9-2018.5.31 展覧会 関連企画	慶應義塾の建築プロジェクト展覧会 信濃町往来——建築いま昔 北里記念医学図書館の建築(見学)：北里記念医学図書館(和田順顕設計、1937年竣工)1Fロビー、2Fホワイエ部分、山村耕花《腑分》(1927)
12.16 見学会	都市のカルチュラル・ナラティブ 慶應義塾大学と三田の名建築 講師：米山勇(東京都江戸東京博物館研究員・江戸東京たてもの園研究員)
1.20 講演	アムバルワリア祭 VII「西脇順三郎と古代ギリシャ」 登壇者：高橋睦郎(詩人)、八木幹夫(詩人)、糸川麻里生(副所長・文学部教授) 司会：新倉俊一(訪問所員・明治学院大学名誉教授)
1.22 ディスカッション	没後32年 土方巽を語ること VIII ゲスト講話：中村宏(画家)

1.22-3.16 展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XVI 影どもの住む部屋 — 瀧口修造の書斎
1.26 関連企画	トーク・イベント：石岡良治(視覚文化論)、久保仁志(所員)
2.16	トーク・イベント：土屋誠一(批評家)、久保仁志(所員)
3.9	トーク・イベント：山本浩貴(いぬのせなか座)、山腰亮介(展示企画特別協力者)、久保仁志(所員)

2018

■慶應義塾大学アート・センター周年事業「KUAC Art Archive 20周年」 ■慶應義塾大学アート・センター25周年事業シンポジウム「ジェネティック・エンジン」 ■文化庁平成30年度地域の美術館・歴史博物館を中核としたクラスター形成事業 都市のカルチュラル・ナラティブ in 港区：大学ミュージアムを核とする地域文化資源の連携・国際発信・人材育成事業 ■平成30年度港区文化プログラム連携事業 地域文化資源インターンシップ — 地域文化の現場を訪ねる講座 ■Booklet27 『芸術とアーカイヴ — ジェネティック・エンジン』



4.25 講演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 2018 vol.1 「変化するTime」 vol.3 講師：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
5.14-5.25 展覧会	慶應義塾大学アート・センター周年事業 KUACアート・アーカイヴ20周年記念 アート・アーカイヴ資料展 XVII 「ジェネティック・エンジン」プロジェクト紹介展示

5.30 講演 コンサート	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 2018 vol.2 #1 レクチャーコンサート「林正樹の万華鏡」 演奏：林正樹(ピアニスト)、司会：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
---------------	--

6.8 公演	2018年度新入生歓迎行事 雪雄子舞踏公演「秘光」 出演者：雪雄子(舞踏家)、照明・音響：曾我傑、コーディネーター：小菅隼人(所員・理工学部教授)
--------	--



6.4-8.6 展覧会	釈宗演遠諱100年記念特別展 釈宗演と近代日本 — 若き禅僧、世界を駆ける 第一会場：慶應義塾大学図書館展示室、第二会場：慶應義塾大学アート・スペース
6.11 関連企画	特別対談「釈宗演とグローバリゼーション」：横田南嶺(臨済宗大本山円覚寺派管長)、馬場紀寿(東京大学東洋文化研究所准教授)
6.11, 23, 7.12, 21, 8.6	座禅ワークショップ&ミニレクチャー(@旧ノグチ・ルーム) ミニレクチャー：梅沢恵(神奈川県立金沢文庫主任学芸員)、都倉武之(慶應義塾福沢研究センター准教授)
6.19, 27, 7.21	ギャラリー・トーク：都倉武之(慶應義塾福沢研究センター准教授)
7.21	都市のカルチュラル・ナラティブ 慶應義塾のギャラリーを知る：トーク&ガイド「釈宗演と近代日本」展 ミニ・レクチャー：本間友(所員)、ギャラリー・トーク：都倉武之(慶應義塾福沢研究センター准教授)

8.1 講演 コンサート	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 生誕100年記念 油井正一を語る〈第1回〉「人間としての油井正一」 演奏：島裕介(トランペッター)、ゲスト：油井正太郎、司会：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
--------------	--

8.27 講演 上映	Vistas, Intervals, Apertures — 眺め/間隔/すき間「オープンキャンパスのために」 トーク：グラハム・エラード(ロンドン芸術大学セントラルセントマーチンズ教授) 上映：「オープンキャンパスのために」(グラハム・エラード+スティーブン・ジョンストン)
------------	--

9.1 講演 特別展示	南画廊と志水楠男 トーク：石橋輝男、横田茂(横田茂ギャラリー)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
-------------	---

9.26 シンポジウム	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 生誕100年記念 油井正一を語る〈第2回〉「油井ジャズ史観はいま」 登壇者：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)、大和田俊之(所員・法学部教授)、糸川麻里生(副所長・文学部教授)
-------------	--

9.26 講演 コンサート	レクチャー・コンサート「ストラディヴァリウス〜ヴァイオリンのマスターピースに触れる」 演奏：大江馨(ヴァイオリン)、講師：中澤創太(日本ヴァイオリン代表取締役社長)
---------------	---

9.27, 29 見学会 講演	都市のカルチュラル・ナラティブ 都市の寺院を訪ねる：増上寺山内寺院の歴史と文化 ガイドツアー&レクチャー 講師：伊坂道子(建築家・伊坂デザイン工房共同代表)、野村恒道(常照院住職) レクチャー&特別拝観 講師：伊坂道子、小林正道(妙定院住職)、小林淳道(妙定院副住職)
-----------------	--

10.1-11.2 展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XVIII 土方巽、トリックスター/肉体の叛乱 1968-2018
10.3 関連企画	シンポジウム：『20世紀舞踊』を検証する 報告：うらわまこと、山野博大(20世紀舞踊の会同人)、パフォーマンス：池宮中夫ソロダンス
10.4	ダンス：Dance Medium & UNFIX 「曼珠沙華」〜地上に咲く花、天界に咲く花〜 振付・演出：長岡ゆり、正朔、出演：長岡ゆり、正朔、Paul Michael Henry、Yokko、Bob Lyness、吉崎康佑、ホンダリョウ、Mario Horenstein ほか
10.5	ダンス・ジャズ：“Inventory of My Life” 演出：Rosa van Hensbergen(UK)+石本華江、舞踏：石本華江、音楽：Soosan Lolavar、助成：the Sasakawa Foundation、AMAREYA THEATRE “DEADMAN EATING WATERMELON”/performance: Katarzyna Pastuszkak、Aleksandra Sliwinska、立花秀輝(アルトサクセス)

10.1-12.14 展覧会	KUAC Cinematheque 2x『ブリーツ・マシーン』1号
12.14 関連企画	トーク・イベント「《Para Vision Ten》とビデオ・テクノロジー」 登壇者：手塚一郎(VIC代表)、小林はくどう(映像作家)、久保仁志(所員)

10.11 講演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 「マイケル・ブレッカーを聴く」 講師：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
----------	--

10.13	ワークショップ 講座	都市のカルチュラル・ナラティブ レクチャー&坐禅ワークショップ「古川のほとり・龍源寺からのまなざし：寺院文化の現在」 登壇者：松原信樹(龍源寺住職)、聞き手：國本学史(文学部非常勤講師)
10.17, 20	見学会	慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード ― 建築特別公開日
10.20	シンポジウム	都市のカルチュラル・ナラティブ 大学の建築フォーラム：アーカイヴとアウトリーチ 登壇者：藤本貴子(文化庁国立近現代建築資料館建築資料調査官)、桑折美智代(明治学院歴史資料館)、富田ゆり・丸山美季(学習院大学史料館)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
10.26	講演	研究フォーラム「生成(ジェネティック)するアーカイヴ ― 創造の軌跡をもとめて」 登壇者：前田富士男(中部大学客員教授・慶應義塾大学名誉教授)、柳田利夫(慶應義塾大学名誉教授)、糸川麻里生(副所長・文学部教授)、進行：森下隆(所員)
11.12-12.14	展覧会	平成30年度センチュリー文化財団寄託品展覧会 禅僧の書と書物 第一会場：慶應義塾図書館展示室、第二会場：慶應義塾大学アート・スペース
11.18	関連企画	都市のカルチュラル・ナラティブ 学問・文化プラットフォームとしての寺院：泉岳寺と禅の文化 ガイド：牟田賢明(泉岳寺知客兼受処主事)、講演：堀川貴司(斯道文庫教授)
11.28, 12.10		ギャラリー・トーク
11.17	ディスカッション 講演	慶應義塾大学アート・センター周年事業 KUAC Art Archive 20周年 シンポジウム「ジェネティック・エンジン」 セッション1：樋口良澄(関東学院大学国際文化学部客員教授・明治大学唐十郎アーカイブ運営委員)、聞き手：森下隆(所員) セッション2：山川道子(株式会社プロダクション・アイジー アーカイブグループリーダー)、聞き手：本間友(所員) セッション3：佐藤知久(京都市立芸術大学芸術資源研究センター准教授)、聞き手：渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター) 特別講演：御厨貴(東京大学先端科学技術研究センター客員教授)
1.19	講演	アムバルワリア祭 VIII「西脇順三郎 影響と受容」 登壇者：笠井裕之(所員・法学部教授)、ローザ・ファン・ヘンスパーゲン(ケンブリッジ大学)、大東和重(関西学院大学教授)、司会：新倉俊一(訪問所員・明治学院大学名誉教授)
1.21-2.8	展覧会	文学部古文書室展 VI 江戸時代の貨幣と人々の暮らし
1.21	ディスカッション	「公開討議」土方巽アーカイヴ 登壇者：池宮中夫(ダンサー)、木部与巴仁(フリーライター)、吉増剛造(詩人)、石井真理子(舞踏家)ほか
2.8	講座 見学会	都市のカルチュラル・ナラティブ 特別見学+トーク「ギャラリーと公共性」 登壇者：横田茂(横田茂ギャラリー)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
3.7	講演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 「なぜ、今シンフォニック・ジャズなのか ― ショーター、ワシントン、挟間」 講師：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
3.21	公演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 特別版「山下洋輔、相倉久人を語る」 登壇者：山下洋輔(ピアニスト)、中安亜都子(ミュージックライター)、司会：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
3.25-5.24	展覧会	スタンディング・ポイント II アナ・メンディエタ
3.25-5.24	展覧会	『グリーツ・マシーン』2：中嶋興×松澤有 ― 写真上の部屋
4.16	関連企画	中嶋興の米国展示・上映ツアー報告会 登壇者：久山和宣(映像作家)、鋤本浩一(プロデューサー)、菅原ミカ(ファッション・デザイナー)、AKI(マニキュリスト)、Katsuya Narikawa(ヘア・ドレッサー)
5.24		ギャラリー・トーク「写真上の部屋」 ― ドキュメントを撮るとのこと 登壇者：中嶋興(映像作家)、久山和宣(映像作家)、久保仁志(所員)

2019

■文化庁平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業：都市のカルチュラル・ナラティブ in 港区 ■令和元年度港区文化プログラム連携事業 都市のカルチュラル・ナラティブ ■港区：子どもアートスクール等事業実施に係る調査業務 ■慶應義塾創立150年記念未来先導基金 ミーツ・アーティスト・イン・慶應：学生がアーティストに出会うワークショップ



4.22	講演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” #1 「エスペランサ・スポルディング 考察」 講師：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
5.12	ディスカッション	都市のカルチュラル・ナラティブ 現代アート・アーカイヴ/トークセッション 夜のアーカイヴ、芸術のドライブ 登壇者：田村友一郎(「六本木クロッシング2019展：つないでみる」出展アーティスト)、久保仁志(所員)
5.22	講演 コンサート	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 2019 vol.2 「菊地成孔、菊地成孔を語る」 ゲスト講師：菊地成孔(訪問所員・音楽家・著述家)、小田朋美(ピアノ)、聞き手：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)、大和田俊之(所員・法学部教授)

5.24	公演	2019年度新入生歓迎行事 上杉満代舞踏公演「命」 出演者:上杉満代(舞踏家)、多田正美(音楽)、照明・音響:曾我傑、コーディネーター:小菅隼人(所員・理工学部教授)
5.26	上映 ディスカッション	都市のカルチュラル・ナラティブ ドキュメンタリー映像上映会 港画:都市と文化のビデオノート 登壇者:阿部理沙(映画監督)、藤川史人(映像作家)、大川景子(映画編集)、新部貴弘(映画監督、慶應義塾大学DMC研究センター特任講師)、ディスカッサント:久保仁志(所員)
5.30	公演	mandala musica #5 歌って踊って話して知ろう、フィリピンのこと ミンダナオ子供図書館の学生によるチャリティ公演
6.3-6.28	展覧会	2019年度センチュリー文化財団寄託品展覧会・特殊文庫連携展示 本の虫・本の鬼 第一会場:慶應義塾図書館展示室、第二会場:慶應義塾大学アート・スペース
6.7, 18	関連企画	ギャラリー・トーク
8.8	講演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 「デューク・エリントン研究」 講師:中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
8.23, 10.31, 11.29, 1.24	ワークショップ 講座	都市のカルチュラル・ナラティブ カルナラ・コレッジ:地域文化資源再発見ワークショップ 講師:本間友(所員)、松谷美美(所員)ほか
9.9, 10	講演 シンポジウム	大学博物館をめぐる国際コンファレンス UMAC東京セミナー 文化コモンズとしての大学ミュージアム: ミュージアムにおける領域横断型研究・教育 登壇者:アンドリュウ・シンプソン(UMAC・マッコーリー大学)、ジュディ・ウィルコックス(セントラル・セント ト・マーチンズ、ロンドン芸術大学)、キャサリン・エクルス(オックスフォード・インターネット研究所、オク クスフォード大学)、塚本由晴(東京工業大学・アトリエ・ワン)、松田隆美(ミュージアム・コモンズ機構長・ 文学部教授)、重野寛(ミュージアム・コモンズ兼担所員・理工学部教授)、渡部葉子(専任所員・教授/ キュレーター)、本間友(所員・ミュージアム・コモンズ専任講師)
9.9-11.1	展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XIX ×プリーツ・マシーン3:中嶋興 — MY LIFE
9.11, 25, 10.9, 23	関連企画	公開制作:中嶋興(映像作家)「MY LIFE 編集室」
9.11, 12, 18, 25, 26, 10.2, 9, 10, 16, 23, 24, 30		公開アーカイヴ構築:中嶋興年表制作、写真整理作業
9.18		上映会:《穴ボコ》《精造器》《生物学的サイクル》ほか
10.18		トーク:「タオイズム『陰陽五行』思想と哲学」中嶋興ほか
10.2, 11.1		上映会+トーク:中嶋興ほか
9.26	講演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 「ビッグバンドの歴史〜トミー・ドー シーからマリア・シュナイダーまで〜」 ゲスト講師:瀬川昌久(ジャズ評論家)、司会:中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
10.3	見学会 講座	都市のカルチュラル・ナラティブ 国際文化会館特別講義・見学会 国際文化会館と3人の建築家たち 講師:松隈洋(京都工芸繊維大学教授)、場所:国際文化会館
10.13	関連企画	アーキテクトーク!“Whose Tokyo? The City as a Collective Project”:ホルヘ・アルマザン(理工学部准 教授)
10.3, 5	見学会	慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード ― 建築特別公開日
10.10	講演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 「ジャズ喫茶の現在と未来」 ゲスト講師:後藤雅洋(ジャズ評論家)、司会:中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
10.24	講演 コンサート	「福田組&ケネス・ダール・ヌドウセン」レクチャー&コンサート 演奏:福田組、ケネス・ダール・ヌドウセン、司会:中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
11.11-11.22	展覧会	彼方の男、儂い資料体
11.9	関連企画	「彼方の男、儂い資料体」プレヴュー&ディスカッション:奥村雄樹(アーティスト)、南雄介(愛知県美術館 館長)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)、久保仁志(所員)
11.25	見学会	都市のカルチュラル・ナラティブ レクチャー・見学会「寺院再訪:寺町の形成と変容」 登壇者:上野大輔(文学部准教授)、インタビュアー:中根和浩(明福寺19代住職)、解説:村山正己(玉 鳳寺住職)、松原信樹(龍源寺住職)
11.28	講演 コンサート	佐藤允彦・林正樹 デュオ・レクチャーコンサート “即興演奏ってなんだ!?” 演奏:佐藤允彦(訪問所員・ピアニスト)、林正樹(ピアニスト)、司会:中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽 大学教授)
12.5	講演	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 「ジャズ最前線」 講師:柳樂光隆(音楽評論家)、司会:中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
12.8	シンポジウム	都市のカルチュラル・ナラティブ 東京湾再発見・アート×サイエンス講演会「江戸前の海と文化」 登壇者:川辺みどり(東京海洋大学教授)、河野博(東京海洋大学教授)、内藤正人(所長、文学部教授)
1.18	講演	アムバルワリア祭 IX 「古代が新しい 作家が語る西脇順三郎」 登壇者:諏訪哲史(作家)、朝吹真理子(作家)、司会:八木幹夫(詩人)、モデレーター:久村亮介(東京 大学大学院博士課程)、オブザーバー:新倉俊一(訪問所員・明治学院大学名誉教授)

1.20-2.21 展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XX 影どもの住む部屋 II——瀧口修造の〈本〉——「秘メラレタ音ノアル」ひとつのオブジェ
2.21 関連企画	トーク・セッション：桑田光平(東京大学大学院准教授)、鈴木一平(いぬのせなか座)、山本浩貴(いぬのせなか座)、山腰亮介(瀧口コレクション補助)、笠井裕之(所員・法学部教授)、久保仁志(所員)
1.21 デイスクッション	没後34年 土方巽を語ることIX ゲスト講話：佐藤信(演出家)、ライブ演奏：のなか悟空(音楽家)、立花秀輝(音楽家)
1.30 講演 コンサート	Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 「島裕介レクチャー&コンサート」 演奏：島裕介(トランペット)、丈青(ピアノ)、司会：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)
3.7	【中止】瀧口修造没後40年記念シンポジウム「瀧口修造と制作の現場」
3.20 講演	【オンデマンド配信】Seiko presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 「パット・メセニーの新作を考察する」 講師：中川ヨウ(訪問所員・洗足学園音楽大学教授)、ピアノ試奏：布施音人、コメント：井奥成彦(文学部教授)、久保智之(patweek主宰)

2020

■文化庁令和2年度地域と共働した博物館創造活動支援事業：都市のカルチュラル・ナラティブ in 港区：大学ミュージアムを核とする地域文化資源の連携・国際発信・人材育成事業 ■令和2年度港区文化プログラム連携事業 都市のカルチュラル・ナラティブ：地域文化資源リレーションシップ — 地域文化資源をつなぐ講座 ■文化庁令和2年度文化芸術振興補助金メディア芸術アーカイブ推進支援事業 中嶋興/VIC を基軸としたビデオアート関連資料のデジタル化・レコード化 ■Booklet28 『Royal Bodies 象徴と実在の間』



7.18 上映 デイスクッション	【ライブ配信】都市のカルチュラル・ナラティブ ドキュメンタリー映像 上映会 港画：都市と文化のビデオノート 登壇者：阿部理沙(映画監督)、藤川史人(映像作家)、大川景子(映像作家) モデレーター：本間友(所員・ミュージアム・コモンズ専任講師)
8.17-10.30 展覧会	SHOW-CASE project No.4 河口龍夫 鯉呼吸する視線
7.13 関連イベント	【ライブ配信】ギャラリー・トーク：河口龍夫(作家・筑波大学名誉教授)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
10.30	【ライブ配信】クロージング・トーク：河口龍夫(作家・筑波大学名誉教授)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)



9.4, 10.9, 11.6, 12.11, 3.7 ワークショップ 講座	都市のカルチュラル・ナラティブ カルナラ・コレッジ'20：地域文化資源再発見ワークショップ 講師：本間友(所員・ミュージアム・コモンズ専任講師)ほか
9.16, 20-26, 29, 30, 10.9, 11-22, 14, 23 講座	【ライブ配信(一部)】都市のカルチュラル・ナラティブ：六本木アートナイトワークショップ「六本木イメジャリ」 講師：皆川典久(東京スリパチ学会)、三戸和仁(六本木アートナイト実行委員会事務局長)、洞田貫晋一朗(森美術館)ほか、コーディネーター：本間友(所員)
9.18(10.6配信) 対談	【オンデマンド配信】第一興商・日本音楽健康協会 presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 第1回「音楽の力」 登壇者：湯川れい子(音楽評論家)、中川ヨウ(訪問所員)
10.26-2021.2.28 展覧会	オンライン展覧会 Keio Exhibition Room X: 人間交際
10.28(12.24配信) 公演	【オンデマンド配信】2020年度新入生歓迎行事 笠井勲舞踏公演「日本国憲法を踊る」 出演：笠井勲、朗読・出演：原仁美、浅見裕子、音響・照明：曾我傑、コーディネーター：小菅隼人(所員・理工学部教授)
11.9-12.11 展覧会	2020年度センチュリー文化財団寄託品展覧会 文人の書
11.9, 30 関連企画	【ライブ配信】ギャラリー・トーク 講師：堀川貴司(斯道文庫教授)
11.11, 14 見学会	【オンデマンド配信】慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード — 建築特別公開日 ガイドツアー：森山緑(所員)、新倉慎右(所員)
12.15(2021.1.6配信) 公開指導	【オンデマンド配信】第一興商 presents “油井正一アーカイヴ” 公開研究会 “拡張するジャズ” 第2回 狭間美帆氏 ライト・ミュージック・ソサイエティ公開指導 登壇者：狭間美帆(作曲家)、慶應義塾大学ライト・ミュージック・ソサイエティ、司会：中川ヨウ(訪問所員)
1.21 デイスクッション	【ライブ配信】没後35年 土方巽を語ることX 登壇者：小菅隼人(所員・理工学部教授)、森下隆(所員)
1.22 デイスクッション 講演	【ライブ配信】都市のカルチュラル・ナラティブ「プロトコルを探るダイアログ：カルチュラル・レジスタンスをめぐって」 出演者：山田健二(美術家、東京藝術大学研究員)、山峰潤也(キュレーター、一般財団法人東京アートアクセラレーション共同代表/ANB Tokyoディレクター)、モデレーター：長谷川紫穂(慶應義塾ミュージアム・コモンズ)

1.24	ディスカッション 講演	【ライブ配信】都市のカルチュラル・ナラティブ「文化と集団のアーバン・リサーチ——いま、都市のコミュニティはどうなっているか？」 セッション1:「コロナ禍におけるライフワーク——生活だけでも、仕事だけでもなく」登壇者:小林えみ・米澤慎太郎・さのかずや、司会:瀬下翔太・松本友也 セッション2:「リモート・アーバン・リサーチ——今、リアルの空気を捉えるには」登壇者:遠山啓一・Erinam・小山ひとみ、司会:瀬下翔太・松本友也
2.1-3.26	展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XXI 楨文彦と慶應義塾 I:反響するモダニズム
2.18-3.26	関連企画	タテモノレゾナンス Instagram に慶應義塾のキャンパスシーンを投稿しよう!
2.16(3.15配信)	講演 コンサート	【オンデマンド配信】“油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”第3回 BOYS TRIO 演奏:BOYS TRIO 金澤英明(ベーシスト)、石井彰(ピアニスト)、石若駿(ドラマー)、司会:中川ヨウ(訪問所員)
3.21	シンポジウム	【オンデマンド配信】明治大学唐十郎アーカイヴ・慶應義塾大学アート・センター共催「映像と演劇アーカイヴ:記録は現場に拮抗するか」 第1部「映像記録の歴史性と現在性」、第2部「コロナ下の映像とアーカイヴィングの行方」登壇者:手塚一郎(VICビデオインフォメーションセンター)、久保仁志(所員)、久保井研(劇団唐組)、伊藤真紀(明治大学唐十郎アーカイヴ運営委員長・文学部専任教授)、司会:樋口良澄(明治大学唐十郎アーカイヴ運営委員)
3.27	講演	【ライブ配信】アムバルワリア祭 X「西脇順三郎と詩の未来」 登壇者:野村喜和夫(詩人)、カニエ・ナハ(詩人)、山崎修平(詩人)、オブザーバー:新倉俊一(訪問所員・明治学院大学名誉教授)

2021

■文化庁令和3年度地域と共働した博物館創造活動支援事業 更新される都市文化:地域文化機関の連携に基づく文化とコミュニティの持続的成長モデル形成事業 ■文化庁令和3年度文化芸術振興費補助金メディア芸術アーカイブ推進支援事業 中嶋興/VICを基軸としたビデオアート関連資料のデジタル化・レコード化II ■Booklet29 『モルフ/アンティ・モルフ——「場」をめぐるイメージ論』



4.19-7.30	展覧会	Artist Voice I: 河口龍夫 無呼吸
5.8	関連企画	【中止】公開座談会「河口龍夫 時のブーメラン」
7.17		【ライブ配信】「河口龍夫 無呼吸——作品が語るギャラリー・トーク」登壇者:河口龍夫(作家・筑波大学名誉教授)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
6.17	講演 コンサート	“油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”「石若駿、変遷するビート」 ゲスト講師:石若駿(ドラマー)、中川ヨウ(訪問所員)
7.17	上映 ディスカッション	都市のカルチュラル・ナラティブ ドキュメンタリー映像 上映会 港画:都市と文化のビデオノート 登壇者:阿部理沙(映画監督)、藤川史人(映像作家)、モデレーター:本間友(所員・ミュージアム・コモンズ専任講師)



8.16-9.17	展覧会	オブジェクト・リーディング:精読八景
8.17, 24, 9.4, 11	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティブ カルナラ・コレッジ'21:「カルチュラル・ナラティブの旅支度」(全5回)
10.4, 10, 18, 21, 25, 28, 11.10, 21	講座	【ライブ配信】都市のカルチュラル・ナラティブ 六本木アートナイトワークショップ「六本木再描画:Chit Chat Mapping」 ファシリテーター:戸塚愛美(六本木アートナイト事務局)、本間友(所員・ミュージアム・コモンズ専任講師)、石本華江(所員)
10.10	シンポジウム	【オンデマンド配信】第一興商・日本音楽健康協会 presents “油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”「音楽と歌と健康」 登壇者:斎藤一郎(鶴見大学教授)、大坪直木(日本音楽健康協会)、中川ヨウ(訪問所員)
10.13(12.24配信)	公演	【オンデマンド配信】2021年度新入生歓迎行事 笠井観ポスト舞踏公演『使徒ヨハネを踊る』 出演者:笠井観、朗読:笠井禮示、音響・照明:曾我傑、コーディネーター:小菅隼人(所員・理工学部教授)
10.18-12.3	展覧会	我に触れよ(Tangite me):コロナ時代に修復を考える
11.1-6	関連企画	旧ノグチ・ルーム特別公開日
11.5		彫刻を洗って、磨いて、見る——触覚鑑賞ワークショップ 講師:黒川弘毅(武蔵野美術大学/有限会社ブロンズスタジオ)
11.6	シンポジウム	【ライブ配信】登壇者:伊藤亜紗(東京工業大学教授)、黒川弘毅(武蔵野美術大学教授・有限会社ブロンズスタジオ)、高橋裕二(有限会社ブロンズスタジオ)、宮崎安章(有限会社修復研究所二十一)、渡部葉子(慶應義塾大学アート・センター/慶應義塾ミュージアム・コモンズ)
11.17	ギャラリー・トーク	【ライブ配信】修復家と見る《福澤諭吉還暦祝 灯台》 登壇者:高橋裕二(有限会社ブロンズスタジオ)
10.26, 11.18		慶應義塾中等部ワークショップ 講師:宮崎安章(有限会社修復研究所二十一)
11.2, 9		港区立御成門中学校(美術部)ワークショップ 講師:宮崎安章(有限会社修復研究所二十一)
11.18, 25, 12.2		慶應義塾幼稚舎(美術を楽しむ会)ワークショップ 講師:宮崎安章(有限会社修復研究所二十一)

10.26	シンポジウム	日本音楽事業者協会+NexTone 寄附講座プレイベント キックオフ! エンターテインメント・コミュニケーションズ論 登壇者: 田村淳(タレント)、パネラー: 荒川祐二(株式会社NexTone代表取締役COO)、野本晶(Merlin Japan株式会社ゼネラル・マネージャー)、モデレーター: 原田悦志(訪問所員)、糸川麻里生(副所長・文学部教授)
10.28	講演 コンサート	第一興商・日本音楽健康協会presents“油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”「レクチャー&コンサート 小松亮太“タンゴの真実” with 北村聡」 演奏: 小松亮太(バンドネオン奏者)、北村聡(バンドネオン奏者)、司会: 中川ヨウ(訪問所員)
11.3	シンポジウム	第1回富田勲シンポジウム「富田勲の人、仕事、時代。」 登壇者: 富田勝(環境情報学部教授・医学部兼任教授・先端生命科学研究所所長)、千住明(作曲家・編曲家・音楽プロデューサー)、松武秀樹(作曲家・シンセサイザープログラマー)、佐藤允彦(訪問所員・ピアニスト)、司会: 藤井丈司(訪問所員・音楽プロデューサー)、糸川麻里生(副所長・文学部教授)
11.7-2023.1.20	展覧会	慶應義塾大学信濃町キャンパス レトロスペクティヴ
11.25, 2.4, 25	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティヴ アクセシビリティ検討ワーキング・グループ 講師: 本多達也(富士通株式会社)、仲谷正史(環境情報学部准教授)、武内厚子(東京都写真美術館)、林建太、中川美枝子(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ)、コーディネーター: 森山緑(所員)
12.4	見学会	都市のカルチュラル・ナラティヴ 時が重なる寺院、瑞聖寺に歴史と文化を訪ねる 講師: 古市義伸(瑞聖寺住職)
12.9	公開指導	第一興商・日本音楽健康協会presents“油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”ビッグバンド・ワークショップ～大友遼氏を迎えて“クロスボリ”ワールドへの誘い feat. KEIO Light Music Society 登壇者: 大友遼(作曲家・トロンボーン奏者)、慶應義塾大学ライト・ミュージック・ソサイエティ、司会: 中川ヨウ(訪問所員)
12.10, 17, 1.14, 24, 28	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティヴ 地域の文化を読み解くラーニング・ワークショップ「コレクティヴ・メモリー」(全5回) 講師: 佐藤知久(京都市立芸術大学芸術資源研究センター教授)、大内曜(東京都美術館)、麻布未来(写真館)、都倉武之(慶應義塾福澤研究センター准教授)、コーディネーター: 渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)、森山緑(所員)、本間友(所員・ミュージアム・コモンズ専任講師)
1.21	ディスカッション	没後36年 土方巽を語ること XI ゲスト講話: 磨赤兒(舞踏家・俳優)
1.22	講演	アムバルワリア祭 XI「詩は訳されたがっている?!— 西脇順三郎と翻訳の詩学」 登壇者: 朝吹亮二(慶應義塾大学名誉教授・詩人・フランス文学者)、エリック・セランド(翻訳家)、松田隆美(文学部教授、慶應義塾ミュージアム・コモンズ機構長)、野村喜和夫(詩人)
2.14-2022.4.22	展覧会 関連企画	Artist Voice II: 有元利夫 うたのうまれるところ 【オンデマンド配信】ギャラリー・トーク: 有元容子(日本画家)、新倉慎右(所員)
3.17-3.31	展覧会	竹芝みなとフェスタ「竹芝図譜」 場所: 歩行者ポートデッキ
2.26, 3.5	ワークショップ	講師: 新良太(写真家) 場所: ポートシティ竹芝まちづくりプラザ
3.31	ワークショップ	【ライブ配信】港区の名建築— モダニズム漂う楨文彦建築 講師: 本間友(所員)、新倉慎右(所員)

2022

■文化庁令和4年度文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM 事業 地域文化資源の活用に根差した包摂的コミュニティ形成のためのミュージアム機能強化モデル構築事業 ■文化庁令和4年度文化芸術振興費補助金メディア芸術アーカイブ推進支援事業 中嶋興/VICを基軸としたビデオアート関連資料のデジタル化・レコード化 III ■MINATOシティプロモーションクルー認定事業 「学生がナビゲートする港区の現代アート」コンテンツ制作事業 ■公益財団法人花王芸術・科学財団 2022年度美術館等の美術展覧会への助成 ■Booklet30『没後40年 西脇順三郎— 無限の過去、無限の未来』



5.9-6.24	展覧会 関連企画	スタンディング・ポイント III: ハンネ・ダルボーフェン 【オンデマンド配信】ギャラリー・トーク: 渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
5.26	講演	“油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”第1回「笹路正徳・音楽プロデューサー仕事の醍醐味」 講師: 笹路正徳(音楽プロデューサー)、司会: 中川ヨウ(訪問所員)
6.17	シンポジウム	慶應義塾大学アート・センターシンポジウム 松本隆〈言葉の教室〉@三田 登壇者: 松本隆(作詞家)、聴き手: 延江浩(ラジオプロデューサー・『言葉の教室』著者)、司会: 宇賀なつみ(フリーアナウンサー)、参加者: 慶應義塾大学学生グループ、大和田俊之(所員・法学部教授)、糸川麻里生(副所長・文学部教授)
7.4-7.29	展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XXII 疱瘡譚～生んだもとの生命からすでに切りはなされてあるを
8.20	上映 ディスカッション	都市のカルチュラル・ナラティヴ ドキュメンタリー映像上映会 港画: 都市と文化のビデオノート 登壇者: 藤川史人(映像作家)、阿部理沙(映画監督)、大川景子(映画監督)、モデレーター: 本間友(所員・慶應義塾ミュージアム・コモンズ専任講師)



9.15-11.22	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティヴ 「アートナイトを語る」ワークショップ 対話で紐解くアートの魔法 ARTLK Trekking(全6回) ファシリテーター:本間友(所員)ほか
10.3-12.16	展覧会 関連企画	アート・アーカイヴ資料展 XXIII 横文彦と慶應義塾 II: 建築のあいだをデザインする 【オンデマンド配信】ギャラリー・トーク:1回目 新倉慎右(所員)、2回目 大山エンリコイサム(美術家)
10.19	公演	2022年度新入生歓迎行事 笠井叡ポスト舞踏公演「今、ショパンを踊る」 出演:笠井叡、音響・照明:曾我傑、コーディネーター:小菅隼人(所員・理工学部教授)
10.22	シンポジウム	大回顧展「萩原朔太郎大全2022」記念シンポジウム 萩原朔太郎と詩の未来 基調講演:松浦寿輝(詩人・作家・東京大学名誉教授)、登壇者:吉増剛造(詩人)、三浦雅士(文芸評論家)、マーサ・ナカムラ(詩人)、司会:朝吹亮二(慶應義塾大学名誉教授・詩人・フランス文学者)
10.29	上映 ディスカッション	ステラーク×VIC(ビデオインフォメーションセンター):モデュレート/メディエイト(日本居住時代の1970年代パフォーマンス記録上映&アーティストトーク) パネリスト:ステラーク(パフォーマンスアーティスト)、逢坂卓郎(美術家)、根上陽子(Living Together Co.)、モデレーター:長谷川紫穂(慶應義塾ミュージアム・コモンズ)
11.4	シンポジウム	ART WEEK TOKYO ROUND TABLE「Curatorial Vision(s)」 登壇者:イ・スキョン(テート・モダン)、レズリー・マ(メトロポリタン美術館)、ガブリエル・リッター(カリフォルニア大学サンタバーバラ校美術学科准教授)、アダム・シムジック(アムステルダム市立美術館)、モデレーター:帆足亜紀(横浜トリエンナーレ組織委員会)
11.13	ワークショップ	“油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”第2回「石若駿 ドラミングワークショップ」 登壇者:石若駿(ドラマー)、司会:中川ヨウ(訪問所員)
11.16, 12.7, 21	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティヴ 地域の文化を読み解くラーニング・ワークショップ「コレクティヴ・メモリー2」 講師:新良太(フォトグラファー)、コーディネーター:森山緑(所員)、石本華江(所員)
11.17	対談	“油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”第3回「平野啓一郎×中川ヨウ・音楽と分人」 登壇者:平野啓一郎(小説家)、中川ヨウ(訪問所員)
11.28-30	見学会	慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード ― 建築特別公開日
12.1	公開授業	“油井正一アーカイヴ”公開研究会“拡張するジャズ”第4回「WONK 僕らの世代のルーツ音楽」 登壇者:WONK 荒田洗、井上幹、司会:中川ヨウ(訪問所員)
12.2	シンポジウム	第2回富田勲シンポジウム 初音ミクと『イーハトーヴ交響曲』― mind of universe に向けて 登壇者:木村直弘(岩手大学人文社会学部教授)、伊藤博之(クリプトン・フューチャー・メディア株式会社代表取締役)、脇田玲(環境情報学部教授)、藤井丈司(訪問所員・音楽プロデューサー)
12.10	シンポジウム	瀧口修造研究会特別例会 パビエプリエ00: 交信紙 ― 岡崎和郎の矢印について 登壇者:馬場駿吉(俳人)、平芳幸浩(京都工芸繊維大学教授)、瀧口修造研究会メンバー、司会:笠井裕之(所員・法学部教授)
12.11	シンポジウム	牧村憲一アーカイヴ・第1回シンポジウム 加藤和彦と大貫妙子 ふたつの「ヨーロッパ三部作」〜大貫妙子氏を迎えて 登壇者:大貫妙子(シンガーソングライター)、牧村憲一(訪問所員・音楽プロデューサー)、藤井丈司(訪問所員・音楽プロデューサー)、糸川麻里生(副所長・文学部教授)
12.16	講演	【オンデマンド配信】第一興商・日本音楽健康協会presents “油井正一アーカイヴ”公開研究会 “拡張するジャズ”第5回「音楽の力、歌の力」 登壇者:湯川れい子(作詞家・音楽評論家)、司会:中川ヨウ(訪問所員)
12.17	シンポジウム	慶應義塾大学エンターテインメント三講座合同シンポジウム「エンタメ学宣言! ゲーム・音楽・アニメから展望する研究・教育の現在と未来」 登壇者:中山淳雄(エンタメ社会学者・経済学部訪問研究員)、新島進(経済学部教授)、三原龍太郎(経済学部准教授)、糸川麻里生(副所長・文学部教授)ほか
12.17, 18	上映 講演	ポर्टフォリオ BUTOH The Social World of Butoh Dance: Screening an Unseen Performance from the 1970s 登壇者:ローザ・ヴァン・ヘンスバーゲン(ケンブリッジ大学)、小林直人(JSPPS)、Hyori Jeon(JSPPS)、小菅隼人(所員・理工学部教授)、石本華江(所員)、場所:クィーンズ・コレッジ(ケンブリッジ大学)
1.16-3.17	展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XXIV 西脇順三郎没後40年記念展「フローラの旅」
2.25, 3.11	関連企画	インクルーシヴ鑑賞ワークショップ「読書/詩を読む編」、「散歩編」
3.6		ギャラリー・トーク
1.20, 30	見学会 ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティヴ 日常の風景の中に文化財を観る 地域の彫刻と建築を学ぶワークショップ 建築ツアー:五十嵐太郎(東北大学大学院教授) 彫刻ツアー:黒川弘毅(彫刻家、武蔵野美術大学彫刻学科教授)
1.21	ディスカッション	没後37年 土方巽を語ること XII 第1部 ゲスト講話:笠井叡、第2部 2022年度新入生歓迎行事 笠井叡ポスト舞踏公演 記録映像上映

1.22	ディスカッション 上映	マイ・ライブ勉強会 参加者：中嶋興(ビデオ・アーティスト)、中川陽介(アーティスト)、好光義也(アーティスト)ほか 司会：久保仁志(所員)
1.25	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティブ 文化財への新しいアプローチに触れる1dayプログラム「オブジェクト・ベスト・ラーニング」入門 講師：渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)、ファシリテーター：中間友(所員・慶應義塾ミュージアム・コモンズ専任講師)、長谷川紫穂(慶應義塾ミュージアム・コモンズ)、山田桂子(慶應義塾ミュージアム・コモンズ)
1.28	講演	アムバルワリア祭 XII 「西脇順三郎と女性性——左川ちかを思い出しながら」 登壇者：野村喜和夫(訪問所員・詩人)、小池昌代(詩人)、鳥居万由実(文学研究者、詩人)
2.4	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティブ 東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム：目の見える人と見えない人のまっすぐ&ぶらぶら対話ツアー 場所：東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム
2.16	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティブ インクルーシヴを語る会：歴史文化あふれる増上寺とともに考えるお話：武智公英(大本山増上寺参拝部部長)、場所：大本山増上寺
3.8	研究会	【ライブ配信】瀧口修造研究会特別例会：具体的資料から見るジュアン・ミロと瀧口修造を中心とした諸関係について 登壇者：ピラール・カバーニャス(マドリド・コンプルテンセ大学准教授)、笠井裕之(所員・法学部教授)、松田健児(商学部准教授)、通訳：イグナシオ・アドリアソラ(プリティッシュコロンビア大学准教授)
3.10	見学会	都市のカルチュラル・ナラティブ 寺院の文化と現代における活動を学ぶ見学会 「泉岳寺を訪ねる」 講師：牟田賢明(泉岳寺知客兼受処主事)

2023

■アート・センター創立30年 ■文化庁令和5年度文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM 事業 多様な地域文化資源を活用した包摂的コミュニティ形成：ミュージアム機能強化のための実践とモデル構築事業 ■文化庁令和5年度メディア芸術アーカイブ推進支援事業 1970年代以降のパフォーマンスおよび展覧会のビデオ記録のデジタル化・レコード化 ■Booklet31『榎文彦の諸相：建築と人をつなぐ』(予定)



5.22-7.28	展覧会	アート・アーカイヴ資料展 XXV 歌舞伎への情熱——田邊コレクション/『役者』関係資料展
7.7	関連企画	トークイベント「戦後の歌舞伎雑誌と劇界の人びと」 登壇者：岡崎哲也(松竹株式会社常務取締役)
5.24	公演	2023年度新入生歓迎行事 上杉満代舞踏公演「命」 舞踏：上杉満代、音楽：曾我傑、多田正美、音響：照明：曾我傑、コーディネーター：小菅隼人(所員・理工学部教授)
8.18	ワークショップ	オブジェクト・ベスト・ラーニング実践講座 with GAKU 講師：渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター)
9.27, 12.20	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティブ 地域の文化と記憶を映像資料で読み解くラーニング・ワークショップ コレクティブ・メモリー3 技術編(全2回) バックトゥザフューチャー1：未来を記録したもの 講師：三浦和己(独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ 主任研究員) バックトゥザフューチャー2：未来を記録せよ 講師：平論一郎(東京藝術大学未来創造継承センター准教授) コーディネーター：石本華江(所員)、久保仁志(所員)
10.10-2024.1.26	展覧会	Artist Voice III: 駒井哲郎 線を刻み、線に遊ぶ
11.29, 1.30	関連企画	都市のカルチュラル・ナラティブ Artist Voice III: 駒井哲郎×都市のカルチュラル・ナラティブ トーク&ワークショップ トーク：駒井亜里(駒井哲郎ご子息)、渡部葉子(専任所員・教授/キュレーター) ワークショップ：有村麻里(有限会社修復研究所二十一)
11.2	シンポジウム ディスカッション	ART WEEK TOKYO エキシビション・エクリチュール：展覧会はいかに語り得るか 第一部：シンポジウム 登壇者：保坂健二郎(滋賀県立美術館館長)、キャロル・インホワ・ルー(北京インサイドアウト美術館ディレクター)、アダム・シムジック(アムステルダム市立美術館キュレーター)、チユス・マルティネス(北西スイス応用科学芸術大学附属バーゼル美術インスティテュートディレクター) 第二部：ラウンド・テーブル
11.2-2024.2.6	展覧会	瀧口修造生誕120周年記念展示 ウィルソン・リンカーン・システムとしての〈本〉 場所：富山県美術館3階展示室6
11.9	ワークショップ	触覚鑑賞ワークショップ——彫刻を洗う、楽しむ 講師：黒川弘毅(有限会社ブロンズスタジオ・武蔵野美術大学名誉教授)
11.14-16	見学会	慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード——建築特別公開日
11.16, 12.19	見学会 ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティブ 港区の文化財を見る/学ぶ/知る：地域の建築を開くワークショップ ガイドツアー：普連土学園・慶應義塾大学三田キャンパス レクチャー 講師：松隈洋(神奈川大学教授・京都工芸繊維大学名誉教授)
12.2	上映 講演	ポートフォリオBUTOH『『塩首』(全編) 上映会』 登壇者：ビショップ山田(舞踏家)、森下隆(所員)、小菅隼人(所員・理工学部教授)

12.4	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティヴ オブジェクト・ベスト・ラーニング／トライアル・ワークショップ 講師：渡部葉子(専任所員・教授／キュレーター)
12.9	シンポジウム	瀧口修造生誕120周年記念シンポジウム 瀧口修造研究会特別例会 パピエプリエ01：蝶番のタブローをつくること(曲尺や書物などのように...) 登壇者：カニエ・ナハ(詩人)、山本浩貴(いぬのせなか座)、ゲスト：田中義久(デザイナー／Nerhol) 司会：久保仁志(所員)
12.18	ディスカッション	都市のカルチュラル・ナラティヴ インクルーシヴな寺院体験について考えるワーキング・グループ 参加者：牟田賢明(萬松山泉岳寺・監寺)、林建太、井戸本将義、浦野盛光(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ)ほか
1.27	シンポジウム	都市のカルチュラル・ナラティヴ トークセッション 地域の文化資源を活用したインクルーシヴ・ワークショップの実践 登壇者：林建太、井戸本将義(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ)、武内厚子(東京都写真美術館)、森山緑(所員)、石本華江(所員)、本間友(所員)、モデレーター：渡部葉子(専任所員・教授／キュレーター)
1.29	ワークショップ	都市のカルチュラル・ナラティヴ インクルーシヴな寺院体験について考えるワークショップ 目の見える人と見えない人／ぶらぶら&まっすぐモードで体験する増上寺の境内散歩 講師：赤羽道宣(大本山増上寺住職)、林建太、井戸本将義、浦野盛光(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ)、大石将弘(俳優)
1.20	講演	アムバルワリア祭 XIII 西脇順三郎と「何でも諧謔」の世界——えっ、芭蕉も？ボードレールも？ 登壇者：野村喜和夫(詩人)、長谷川權(俳人)、岩切正一郎(国際基督教大学教授・学長)
1.21	ディスカッション	没後38年 土方巽を語ること XIII ゲスト講話：吉増剛造(詩人)
1.31	ディスカッション 上映	マイ・ライフ勉強会 II 参加者：中嶋興(ビデオ・アーティスト)、中森じゅあん(中嶋興氏夫人・《MY LIFE》出演者)、中川陽介(アーティスト)ほか、司会：久保仁志(所員)
2.5	見学会	都市のカルチュラル・ナラティヴ 寺院に江戸の庭園を訪ねる 講師：酒井亮一(大松寺住職)、場所：大松寺
3.4-4.26	展覧会	Published by KUAC —— 出版物でたどる慶應義塾大学アート・センターの30年
3.8	上映 講演	前衛演劇の探求 Vol.1「大野一雄舞踏公演『ラ・アルヘンチーナ頌』研究上映会」 登壇者：永田靖(大阪大学中之島芸術センター)、小菅隼人(所員・理工学部教授)、石本華江(所員) 場所：大阪大学中之島芸術センター

活動報告

■ 展覧会

Artist Voice III: 駒井哲郎 線を刻み、線に遊ぶ 2023年10月10日(火)~2024年1月26日(金) 三田キャンパス 南別館1階アート・スペース
本展は、日本における銅版画芸術のパイオニアである駒井哲郎(1920-1976)の作品の中から、銅版画だけでなく慶應義塾の機関紙のために描いた挿画類を展示する展覧会である。さまざまな銅版画の技法を駆使した駒井が自らの根幹と捉えるエッチングを中心に、彼の描き出す「線」に着目し、細かく膨大な線を刻み込んだエッチングを中心とした銅版画と、伸びやかで遊び心に富んだ筆致を見せる挿画類を同時に展示することで、駒井の線描の広がりを感じてもらふことを目的としている。同時に、エッチングなどの細かい線を見るために作品に近づいてじっくり鑑賞するという過程は、Artist Voiceという作家の息遣いを感じてもらふシリーズとの親和性が高かったといえよう。

駒井は1927年に慶應義塾幼稚舎に入學しており、普通部に通っているときに『エッチング』誌を通して西洋銅版画に出会った。さらに普通部の図画教師である仙波均平よりエッチングの手ほどきを受け、後年その幸運について述懐している。彼は普通部在学中から作品制作を開始し、西田武雄のエッチング研究所などで研鑽を積んでおり、展覧会冒頭の《丸の内風景》(1938)のように若年の段階で非常に高度な技術を身につけている。駒井は西洋版画の中でも特にルドンやクレーを好んでおり、またパリで後に対面する長谷川潔にも憧れをもった。一方で1954年に渡欧した際にはフランスにおける銅版画の伝統の厚みに打ちのめされて自信を失っているが、これは彼の銅版画に対する思い入れの強さのゆえであろう。その後《樹木 ルドンの素描による》(1956)を皮切りにエッチングの線に再び向き合ったというが、その後しばしば描いた樹木シリーズでは何もない空間に枝を伸ばす樹木の姿には、線に集中しようとする駒井の姿勢が現れている。

ブックワークの仕事を精力的にこなしていた1960-70年代に慶應義塾の『塾』や『三田評論』に表紙絵や挿画を提供していた。既存の作品を利用した『塾』の表紙とは異なり、挿画類ではモノタイプやペン、水彩など銅版画以外の技法が用いられ、写実から抽象まで、銅版画とは違ったストロークが示され、駒井芸術の別の側面を目にする事ができる。本展では幼稚園で発行している『仔馬』の表紙原画とともに駒井作品が掲載された出版物を展示し、慶應と駒井のつながりの深さも可視化している。駒井の版画作品はファンも多く、各所で展覧会が開催されているが、本展では大学とのつながりや、通常目にする事ができない挿画の原画を展示することで、小スペースでの展示ながら多面的に駒井の芸術を紹介することができた。

関連イベント

Artist Voice III: 駒井哲郎×都市のカルチュラル・ナラティブ トーク&ワークショップ

・トーク:2023年11月29日(水) 三田キャンパス 東館6階 G-Lab

駒井哲郎ご子息の駒井亜里氏を登壇者としてお迎えし、芸術家である駒井哲郎が家族のまなざしからどのように見えていたのかをお話しいただいた。通常の鑑賞者は芸術家として駒井を捉えるが、亜里氏のお話により、普段知ることのできない、家庭人としての駒井の姿がありありと想像できた。また駒井作品の展覧会がよく開催されているが、さらに最近でもブックカバーなどに駒井の作品が使用される機会がしばしばあるのを見ると、ずっと前に亡くなった父が今も愛されているのを感じる、という亜里氏の言葉が印象的であった。

・ワークショップ:2024年1月30日(火) 三田キャンパス 南別館1階アート・スペース

当展覧会に出品された《白い黒ノ坊》や挿画類の修復を担当していただいた、修復研究所21の修復家である有村麻里氏を招聘し、その技術と「もの」としての作品への眼差しをお話しいただいた。その内容に entering 前に、WS参加者にも「もの」として作品を見てもらうため、冒頭に実験的にオブジェクト・ベースト・ラーニングを実施した。「もの」としての作品を見る目を養った上で有村氏の話聞くことで、作品を「もの」として見ることを仕事とする修復家の眼差しを体験することができた。さらにOBLと組み合わせることで、単純なバックヤードトークではなく、エデュケーションの機会としてもWSを機能させることができた。

■ 展覧会 今後の開催予定(※タイトルおよび会期は変更される可能性があります)

Published by KUAC —— 出版物でたどる慶應義塾大学アート・センターの30年 2024年3月4日(月)~4月26日(金)

アート・アーカイブ資料展XXVI 飯田善國展(HIDA101) (仮) 2024年5月27日(月)~7月26日(金)

■ 催事

Art Week Tokyo シンポジウム/ラウンドテーブル 2023年11月2日(木) 三田キャンパス 西校舎ホール/旧ノグチ・ルーム

触覚鑑賞ワークショップ —— 彫刻を洗う、楽しむ 2023年11月9日(木) 三田キャンパス

ポートフォリオBUTOH『塩首』(全編)上映会 2023年12月2日(土) 日吉キャンパス 来往舎シンポジウムスペース

瀧口修造生誕120周年記念シンポジウム 瀧口修造研究会特別例会 パビエプリエ 01: 蝶番のタブローをつくること(曲尺や書物などのように…) 2023年12月9日(土) 三田キャンパス 東館6階 G-Lab

アムバルワリア祭 XIII 西脇順三郎と「何でも誹謗」の世界 —— えっ、芭蕉も?ボードレールも? 2024年1月20日(土) 三田キャンパス 東館6階 G-Lab

没後38年 土方巽を語ること XIII 2024年1月21日(日) 三田キャンパス 東館6階 G-Lab

■ プロジェクト(文化庁助成事業。令和5年度の関連催事は下記の通り。)

【令和5年度文化庁 Innovate MUSEUM事業 「都市のカルチュラル・ナラティブ」プロジェクト】

・地域の文化と記憶を映像資料で読み解くラーニング・ワークショップ「コレクティブ・メモリー③ 技術編」 2023年9月27日(水)、12月20日(水)

・慶應義塾の建築プロジェクト 慶應義塾三田キャンパス 建築プロムナード —— 建築特別公開日 2023年11月14日(火)~16日(木)

・港区の文化財を見る/学ぶ/知る:地域の建築を聞くワークショップ 2023年11月16日(木)、12月19日(火)

・Artist Voice III: 駒井哲郎×都市のカルチュラル・ナラティブ トーク&ワークショップ 2023年11月29日(水)、2024年1月30日(火)

・フォーラム「インクルーシブ・ワークショップの実践」 2023年12月4日(月)、2024年1月27日(土)

・寺院における包摂的な文化体験を立ち上げるワーキング・グループ&ワークショップ 2023年12月18日(月)、2024年1月29日(月)

・レクチャー&特別拝観「寺院に江戸の庭園を訪ねる」 2024年2月5日(月)

【令和5年度文化庁 メディア芸術アーカイブ推進支援事業】

・マイ・ライブ勉強会2 2024年1月31日(水)

■ 研究会

西脇順三郎研究会

西脇順三郎研究会の本年度の活動は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、引き続き予防安全対策を施した上で対面とzoomオンラインの併用で開催した。2023年5月に第59回(杉本徹氏)、7月に第60回(ヤリタミサコ氏)、8月には故新倉俊一氏を偲ぶ会を第61回の研究会として開催した。続いて第62回は10月に(朝吹亮二氏)、第63回は11月に(佐藤元次氏)、第64回は2024年3月に(ヤリタミサコ氏)、本年度は合計6回開催した。新たに加入されたメンバーのヤリタミサコ氏、佐藤元次氏には、早速発表を担当していただき感謝している。

同研究会は、詩人、研究者、翻訳家、現役大学院生等をメンバーに有し、毎回担当者がテーマを設定して発表を行い、各メンバーとの議論を深める形式をとっている。多角的な切り口をもつて、西脇順三郎の詩、詩論等を分析対象とすることで、西脇の詩世界の深奥を探索することを目的として活動し、各回の音声記録もアーカイブしている。

また、西脇の故郷、新潟県小千谷市が創設した「西脇順三郎賞」の第1回の賞が決定された。選考委員には研究会の野村喜和夫氏(選考委員長)および朝吹亮二氏(選考委員)が参加しており、2023年6月には小千谷市で贈呈式が行われ両名が参加された。

研究会mandala musica

学生団体ライトミュージック・ソサイエティが1970年代から蓄積してきた各種コンサートで使用した各種譜面のデジタル化・アーカイブ化の作業を、OBOGの方々にも協力していただきながら開始した。作業は1、2ヶ月に一度、三田キャンパスで行っている。

アーカイブの形態学研究会

昨年度に引き続き、オンラインで読書会を行っている。テキストも昨年を継いでブルーノ・ラトゥール『社会的なものを組み直す』。

瀧口修造研究会

アート・センター・アーカイブの「瀧口修造コレクション」が行ってきた研究活動をさらに活性化し、その継続的かつ創造的な核となることを目的として、2021年6月に設立された。瀧口の戦前戦後を通じた領域横断的なアクチュアリティをいかにして現在に接続するか —— これが当面の研究会のテーマである。メンバーは義塾の内外から集まった研究者とクリエイターで構成され、ゲストが参加することもある。2022年度より年に1度、公開シンポジウム「パビエプリエ」を行う。基本的に月1回行われる例会の様子は研究会の機関誌『マージナリア・ジャーナル』に報告されている。アート・センターのWebサイトからご覧いただければ幸いである。

ポートフォリオBUTOH

2023年12月2日(土)日吉キャンパス来往舎シンポジウムスペースにて、北方舞踏派結成記念公演「塩首」の上映会を開催した。昨年イギリスにて行われた国際会議を日本でも開催してほしいとの要望に応えるため、Video Information Centerコレクションより公演映像の全編上映を行った。通常アート・センターでしか閲覧できない資料を紹介する貴重な機会となった。またビショップ山田氏をお招きし、森下隆と小菅隼人が当時の記憶を伺った。

ARTLET 第60号

発行日:2024年2月29日

編集:内藤正人

後藤文子

脇田 玲

渡部葉子

小菅隼人

市川佳世子

小島与志生

制作:図録社

発行:慶應義塾大学アート・センター

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

TEL:03-5427-1621(直通)

FAX:03-5427-1620

http://www.art-c.keio.ac.jp/

E-mail:ac-office@art-c.keio.ac.jp

COPYRIGHT ©2024

BY KEIO UNIVERSITY ART CENTER

ARTLET 第60号

発行日:2024年2月29日

編集:内藤正人

後藤文子

脇田 玲

渡部葉子

小菅隼人

市川佳世子

小島与志生

制作:図録社

発行:慶應義塾大学アート・センター

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

TEL:03-5427-1621(直通)

FAX:03-5427-1620

http://www.art-c.keio.ac.jp/

E-mail:ac-office@art-c.keio.ac.jp

COPYRIGHT ©2024

BY KEIO UNIVERSITY ART CENTER

ARTLET 第60号

発行日:2024年2月29日

編集:内藤正人

後藤文子

脇田 玲

渡部葉子

小菅隼人

市川佳世子

小島与志生

制作:図録社

発行:慶應義塾大学アート・センター

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

TEL:03-5427-1621(直通)

FAX:03-5427-1620

http://www.art-c.keio.ac.jp/

E-mail:ac-office@art-c.keio.ac.jp



慶應義塾大学
アート・センター
KEIO UNIVERSITY ART CENTER